

◇ 令和5年度 薬学系進学研究会（病院薬剤師について学ぶ）

（光プロジェクト～「進路探究」および「総合的な探究の時間」外部講師招請）

日 時 ○ 令和5年9月16日（土） 13:00～14:45
参加者 ○ 本校1～3年生希望者（19名）
場 所 ○ 本館 西教室
講 師 ○ 仙波 藤男 氏（茨城県西部メディカルセンター医療技術部副部長）

👉 今年度も「茨城県西部メディカルセンター」医療技術部からの要請をいただき、病院薬剤師の業務について学ぶ機会を設定することになりました。薬学系を志望する生徒を対象に、キャリア教育、および「総合的な探究の時間」の活動支援の一環としても位置づけようというわけです。

講師を務めていただくのは、茨城県西部メディカルセンター医療技術部副部長の仙波 藤男さんです。1年生から3年生まで19名の生徒を集めての開講となりました。



当初の予定では、今年こそ希望生徒が西部メディカルセンター病院を訪問しての実施となるはずだったのですが…感染症の流行による病院業務の逼迫が続いていることを鑑み、昨年度に続き本校での実施となりました。内容は、薬剤師の役割と仕事内容について学ぶとともに、薬剤師になるために必要な資質と学問・研究について、また薬学部学生を対象とする支援体制についても、パワーポイントを使用して端的にご教示いただきました。また、国が2025年度以降の薬学部新設を認可しない方針を示したことや、薬学部が直面する現実（国家試験合格率、退学率など）など、厳しい現実にもしっかりと言及してくださったことで、生徒たちの身も引き締まったはずです。

そして今年度の参加者の傾向として、「薬学部への進学を希望している」生徒よりも、「未定だが関心がある」「進路選択に迷っており、様々な職業について知っておきたい」という回答が多数を占めるという特徴が見られました。「薬学部志望者は既に昨年度参加済」という点を差し引いても、どうやらこの機会を「自分探し」の一環と捉える生徒たちが多かったようです。

講師の仙波さんにおかれましては、ご多用のなか貴重なお話をいただき、本当にありがとうございました。次年度こそは実際に病院を訪問できることを心より祈念しております。

【生徒の感想から】

◇設問1 設問1 あなたがこの事業に参加した理由を1つ選んでください。

- ・薬学部への進学を志望しているから … 9.1%
- ・薬学部に進むかどうかは未定だが、薬剤師という仕事に関心があったから … 63.6 %
- ・理型に進むことは決めているが、将来の進路については決まっておらず、選択肢を広げたいと考えたから … 9.1%
- ・将来の進路選択に迷っており、様々な職業について知っておきたいとの考えから … 18.2 %



◇設問2 この事業への参加は、あなたにとって意義あるものとなりましたか。

- ・大いに意義があった … 54.6 %
- ・意義があった … 45.4 %
- ・どちらともいえない … 0 %
- ・あまり意義を見出せなかった … 0 %
- ・意義を見出せなかった … 0 %



◇設問3 この事業への参加によって、あなたの薬剤師や薬学部に対する認識・理解度に変化はありましたか。

- ・薬学系について前に調べたことがあったので、分かっていることが多いと思っていたが、実際聞いてみて自分が知らないこと、特に病院で働く薬剤師のことの理解度が深まった。
- ・想像していたよりも面白い内容だった。
- ・暗記が多く、実際の仕事内容は難しそうだと感じた。
- ・今まであまりしっかりと薬剤師という仕事について分からなかったのが、今回のお話を聞いて業務内容や、仕事全体における課題などを知ることが出来、とても理解度が高まったと思います。
- ・薬剤師さんはお薬を処方してくれるぐらいしか知らなかったが、患者の薬歴管理など健康に関わる重要なお仕事をしているのだと分かった。
- ・薬剤師の現在の実態や勤務先での仕事の内容、薬剤師になるための進路など、自分で調べたことより詳しく、そして知らなかったことにたくさんふれることができました。
- ・薬剤師は薬をつくるだけでなく、その人がどのような薬をつかっているかなどをよく考えているこ

とが分かりました。

- 興味があったものの、あまり理解しておらず、知らないことだらけでしたが、今回の事業の参加によって、大学等のこと、薬剤師に必要なスキル・免許などについて詳しく知ることができ、夢の選択肢の1つとして少し近づくことができたと思います。今回は参加できて本当に良かったです！

◇設問4 この事業に参加した感想や、講師の仙波さんへのメッセージをお願いします。

- もし来年実際に病院にいけるとしたら行ってみたいです。またスライドの中に実際の仙波さんの様子をのせていただいたことで想像がしやすかったです。自分は将来をまだ決めきれていないので、選択肢が増やせてよかったです。
- 仙波さんが快く質問をお話の最中に受けてくださって、またお話が終わってほとんど時間のない中でも質問を受けてくださって本当に嬉しかったです。疑義照会や、薬害としての病など、普段は全く聞くことないワードを聞けてとても新鮮でした。また、自分が興味を持つ理由にもなった『アンサングシンデレラ』が出てきて嬉しかったです。この事業を通し、薬剤師という仕事にもっと興味が深まりました。本当にありがとうございました！
- 私は今回の講義を受けるまで、国家試験がマーク式であったことも知りませんでした。薬剤師になるには化学が重要になってくるとわかったので、これから化学の勉強に力を入れようと思いました。私は先月の模試の結果が悪く落ち込んでいましたが、最後に仙波さんが仰っていた「周りと比べず過去の自分を超えていこう」という言葉に救われました。だからこれからも日々努力していこうと思います。ためになる講義をありがとうございました。
- 興味をもっていたけれど、何も知らない・分からないことだらけだった「薬剤師」という仕事に対しての私の理解はとても深まり、いつか働いてみたい、カッコいい！、そんな気持ちを持ちました。これからはもっとよく知り、たくさん努力をして頑張っていきたいと思います。本当に今回は参加させていただけてよかったです！貴重なお時間をありがとうございました！！
- 薬剤師の現状（全体としての数は増加・病院の薬剤師が少ない）を知り、薬剤師に対する認識が深まりました。また、患者さんのことをしっかりと考え、医師と同様に責任ある職業で、とても魅力の多い職業だと思いました。薬の刻印や服用における注意・患者さんを思った薬の工夫（味付け・服用数を減らす）など、薬についての説明はとても面白かったです。そして添付文書の重要性を知り、普段飲んでいる薬には様々な情報が詰まっていることを知ることができました。
- 世界各国の薬剤師の現状と日本の薬剤師の現状を比較することで、アメリカではテクニシャン制度を取り入れていることなど、日本以外の国での工夫を知ることができ、とても興味深かったです。

